

令和5年度 山口県訪問介護事業所連絡協議会
合同研修会アンケート集計

講師 : EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
シニアコンサルタント 山崎 竜平 氏

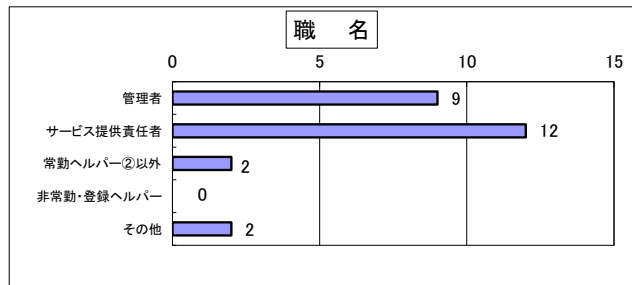
開催日 : 令和6年2月25日(日)

会場 WEB会議システム(Zoom)によるオンライン配信

参加事業所	36
回答数	25
回収率	69.4%

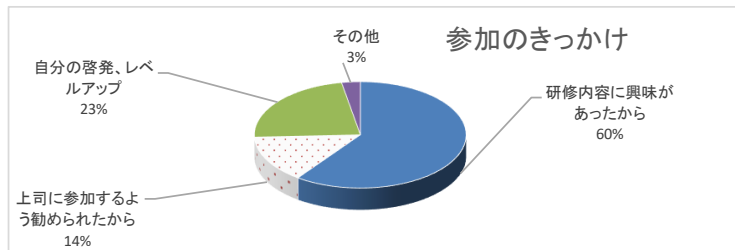
1 職名(複数回答有)

1	管理者	9
2	サービス提供責任者	12
3	常勤ヘルパー②以外	2
4	非常勤・登録ヘルパー	0
5	その他	2
	計	25



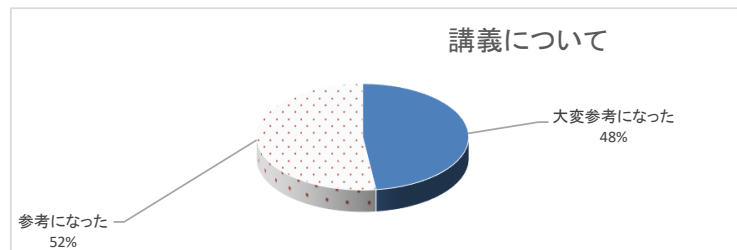
2 参加のきっかけ(複数回答可)

1	研修内容に興味があったから	21
2	上司に参加するよう勧められたから	5
3	自分の啓発、レベルアップ	8
4	その他	1
	計	35



3 講演②「訪問介護を取り巻く動向と将来展望について」に関する講義について

1	大変参考になった	12
2	参考になった	13
3	あまり参考にならなかった	0
4	参考にならなかった	0
	計	25



NO	講演②についての、意見、感想
1	正直なところを話していただいて、とても心強く感じました。現場の意見を吸収して、これからも発信して頂けるとありがたいです。
2	今後の動向も考えながら、業務改革を行っていきたいと思います。
3	制度の作り手側としての話も織り交ぜながら、理解しやすい内容でした。もう少し運営方法の具体的な話ができる機会があれば今後も参加したいと思います。
4	様々なデータなどの提示、今後の展望など参考になりました。
5	前職場だからこそ、今後は現場の意見を届けてください。ありがとうございました。
6	研修に参加させていただき、ありがとうございました。意見が上がっていたように、訪問介護は、馬鹿にされているのではないかと思います。とても残念です。今日出た意見が厚労省に届くことを願っています。
7	訪問介護の生き残り方法のヒントが見えて、良かった。
8	「厚生労働省も手詰まりになっている」という言葉が印象的でした。「彼らに武器を持たせない」という言葉も。みんなで考えて何とかして行くしかないのか。それほど難しい課題なのかと改めて考えさせられました。
9	これからケースを増やしていくことでしばらくは良いとは思いますが、長い先の生活支援は他のサービスで補うようになると思います。その時に備えて身体介護と他に強みが必要かと思えます。仕事のモチベーションを下げずにがんばりたいところです。
10	何となくそうなるのかな？というところでお話しましたが、今後どうなっていくのか不安が募りました。
11	他の事業所さんもそう思うが、報酬改定の詳細を聞きたかったのかと思う。研修後の質疑応答では、皆さんの思いが聞けて良かった。
12	今後、小さな事業所は厳しい状況になると数年前から言われていますが、やはりそうなのか思いました。介護業界全体のベースアップと叫ばれ数経ちますが、低所得の利用者の生活を厳しくするまたは、生活保護受給者を増やすのかいずれにせよ、超高齢化社会は厳しい。とお話を伺い感じました。
13	訪問介護は厳しい状況になっているので、ヘルパー不足の解消も今後の課題だと思っている。
14	単独での訪問介護事業所は将来的に継続が厳しくしていくのではないかと思います。訪問介護員の減少が問題視されている中での単位数引き下げは人材確保に大きな影響を与えられそうです。
15	介護報酬が訪問介護だけが下がるという事に大変ショックを受けました。将来の展望を聞いても、上がる事は難しいという事や、単体での訪問介護事業所の存続は難しいかもしれない、などのお話を聞き、必要な事業でありながら、厳しい展望である事が分かりました。お話しの後で、他事業所の方のお話を聞く事が出来てよかったです。
16	訪問介護の現状を把握できた事が良かった。他の事業所の方の意見、感想を聞いた事が良かったです。

NO	講演②についての、意見、感想
17	<p>複合型サービスについて、国の本音の部分を知ることができたのは、大きな収穫でした。講義の中身として、有期雇用の形態が大きいことが訪問介護員の給与水準アップを妨げていること、また常勤職員が多ければ多いほど加算の算定要件をクリアできるのではないかなど、理解できる部分もありました。訪問介護員としての専門性の向上のためにも必要なのかもしれないとも思いましたが、実際に非常勤職員で支えられている部分も大きいこと、また、比較的時間を自由に使える働き方だからこそ勤務できる訪問介護員もいるという実態もあることから、国の考え方をどこまで受け入れることができるのか、現状ではなかなか難しいと感じました。ただ、ヘルパー一人一人の生産性を上げていかなければ、事業の継続はどんどん難しくなっていくという思いもあり、この新たなサービスの施行が、訪問介護事業所にとって大きな転換期になるのではないかと、とも思いました。</p>